

目次

—表紙絵～ベン・シャーン「少年の日の思い出を」—

提 言福島大学教育学部長 畑 孝6

特集

1. 県養護教育センター開所	8
2. 青少年問題と臨教審	19
3. 情報処理教育の推進	31

随 想23

告知板教育庁新スタッフ・ほか39

研究実践学習形態の設定・いわき市立平第三小学校教諭 吉田 聡42

教育センターから昭和61年度研修・研究事業の概要44

生涯教育
インフォメーション学習機会の拡充をめざして・高郷村教育委員会46

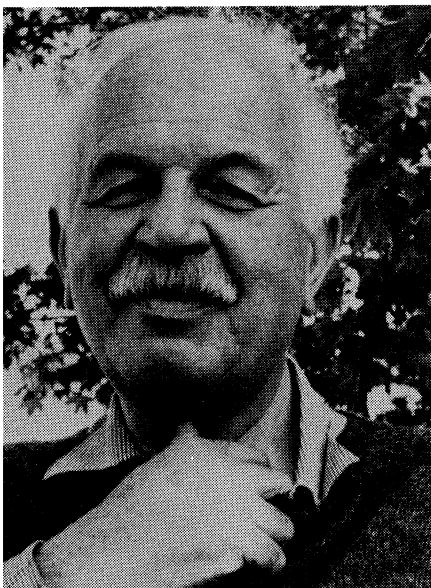
図書館コーナー48

ふるさと探訪旧手代木家住宅一棟・ほか49

羅 針 盤行政費総額に対する公教育費の比率50

世界の教育は・今アメリカの教育51

(紙・リトグラフ 57.3×45.3cm 1968年制作)
福島県立美術館蔵



ベン・シャーン (1898~1969)

名画散歩

「少年の日の思い出を」

表紙絵作者 ベン・シャーン紹介

今年度の表紙は、ベン・シャーンの「ヘルケ「マルテの手記」より」という版画集の中からご紹介いたします。

ベン・シャーン（一八九八—一九六九）は現代のアメリカを代表する画家の一人です。ロシアに生まれた彼は、幼い頃両親と共にアメリカに移住し、少年時代から石版画工房で働きながら絵画を学びました。

ところで、二十世紀の美術は抽象絵画が大きな流れとなりましたが、その中であってベン・シャーンは一貫して具象的な表現を追求しました。彼は人々の日常生活や、現代社会の生み出す様々な矛盾をテーマにした作品を多く描きました。また彼は、独特の細い線による画面構成や文字を使ったデザインなどに強い関心を持ち、ポスターや版画なども数多く手がけています。

版画集「ヘルケ「マルテの手記」より」はベン・シャーン晩年の作品です。ドイツの詩人ライナー・マリア・リルケの「マルテの手記」という小説に強く魅かれたシャーンは、この小説の一節を二四点のリトグラフ（石版画）によって表現しました。この中には細い線だけで構成した作品や甘美な色彩を用いた作品など、バラエティーに富んだ表現がみられ、ベン・シャーン芸術の集大成といった趣があります。